

令和8年度 小城市議会 議会報告会



令和8年5月21日（木）18時30分よりドゥイング三日月多目的ホールにて「第8回小城市議会議会報告会」を開催いたしました。

小城市議会では、市民の皆さまに開かれたわかりやすい議会を目指し、定例会で議決された内容をご報告する「議会報告会」を開催しております。

平日のお忙しいなか、ご来場いただいた皆さま、ありがとうございました。

皆さまからいただきました貴重なご意見をもとに、今後もより身近に感じていただけるよう、議会として考えてまいります。

初 総務常任委員会 オンライン行政視察

令和8年7月17日、小城市議会として初めてのオンライン行政視察を行いました。参加者は総務常任委員会の委員と執行部の企画政策課の担当者でした。

視察内容は兵庫県加東市^{かとうし}の行政サービスにおいてDXを取り入れた窓口改革「書かない窓口」について。加東市の人口は約3万9千人、予算規模も小城市と近い自治体です。

加東市が推進する「書かない窓口」は、今後小城市でも導入を目指しているサービスであり、市民サービス向上と職員の業務効率化を図るためです。

主な市民サービスの向上については、窓口で「待たない」「行かない」「迷わない」「書かない」仕組みであり、市民は署名のみで職員が申請を支援するものです。職員の業務効率化は、各種申請書類の転記等負担が軽減できており、具体的な効果として、転出届の所要時間は15分から13分へ、証明書発行時間は11分から6分へ減少し、市民の満足度も高まったとのことでした。

視察の重要なポイントは、新しいシステムを導入するまでの取り組みを学ぶことでした。

加東市では専門の「加東市DX専門委員会」を立ち上げ、職員自ら市民目線で繰り返し検証を行い運用しているとのこと。市民課だけではなく、市民医療保険課、高齢介護課へ拡大しており、今後はさらに他の課に拡大していくことが目標とのことでした。

加東市からは小城市のLINEを使った申請システムについて質問を受け、様々な意見交換を交え、非常に有意義な時間でした。

